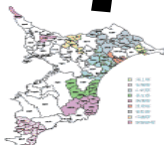


“令和5年度通常総会”開催

隊友千葉だより



千葉県隊友会事務局
事務所開所時間
月・水・金
10:00~15:00

令和5年度千葉県隊友会通常総会を四月十九日に三井ガーデンホテル（千葉市中央区中央）において開催され、会長以下県本部各支部長等および顧問・参与の会員合わせて六十一名が出席しました。国歌斉唱、六十九名の物故者に対する黙とうおよび会長挨拶に続き、議長に選出された市川支部の金井支部長の議事進行に基づき、大根事務局長から令和四年度事業報告・決算報告および令和五年度事業計画・予算計画など五個議案が報告され、参加者による審議を経て全てが可決されました。

総会・表彰式に引き続き、特別会員、関係諸団体の皆様をお招きしてナザレンコ・アンドリー氏（在日ウクライナ人・外交評論家）による「ウクライナの現実と日本への警鐘」と題した防衛講話を開催しました。その際、参加者皆様から頂戴したウクライナ募金（**¥四万六千円**）はウクライナ大使館に贈呈しました。ホテルでの開催は令和元年度以来、4年振りとなり、参加された皆様とともに懇親会を開催することができました。



議長：金井市川支部長



講師：ナザレンコ・アンドリー氏

令和五年度千葉県隊友会役員等

第五号議案議決により、県本部および支部長の交代が了承されました。

令和三年度から二年間に亙り会長としてご活躍された神原会長（陸）の後任として菊地会長（海）が就任しました。また、長きに亙り支部長としてご活躍された中尾四街道支部長、満園沼南支部長、若梅山武東金支部長、内田八街支部長および青木木更津支部長が交代されました。皆様のご功績に深く感謝いたします。

表彰式

総会終了後に表彰式を行い、隊友会活動に貢献された支部会員十名に、神原会長から表彰状を授与しました。

- 個人表彰
- 青木俊和 (船橋支部)
- 木村義忠 (船橋支部)
- 丸山光則 (船橋支部)
- 佐藤孝義 (松戸支部)
- 射場文彦 (松戸支部)
- 金子隆志 (沼南支部)
- 井上博公 (木更津支部)
- 稲垣昌二 (木更津支部)
- 坂口文夫 (木更津支部)
- 土谷昌範 (習志野支部)

- 会長 菊地 聡 (海)
- 副会長 青木 清治 (空)
- 同 田中 誠一 (事)
- 事務局長 大根 正雄 (陸)
- 事務局次長 三浦 洋 (海)

- 理事役
- 永岡 雅史 (陸)
- 門岡 慎也 (陸)
- 茂木 利明 (陸)
- 富田 聖一 (陸)
- 宮越 章 (海)
- 伏見 明彦 (陸)
- 松田 一也 (陸)

- 高谷 哲郎 (陸)
- 門脇 清美 (陸)
- 小芝 寛海 (陸)
- 大瀬戸 功 (海)
- 藤田 穰 (陸)
- 梁池 雅彦 (陸)
- 加納 伸隆 (陸)

- 監事役
- 河西 伸人 (海)
- 小渡 朝義 (海)

- 相談役
- 千葉県地方協力本部長 一等海佐 高橋 秀典

新任

“新会長挨拶” 菊地 聡



この度神原前会長から引き継ぎました菊地聡です。なにぶん若輩者ではありますがよろしくお願ひします。

戦後最も厳しい安全保障環境といわれる中、南西諸島の守りを固めるべく赴任直後の視察において職務に殉じられた隊員に対しまして深甚なる弔意を表します。この度の事故に関する報道に接しても自衛隊の活動等に対する国民及びマスメディアの理解はまだまだ深くないと感じるものであります。

また、親が子供に就いてほしくない職業として「ユーチューバー」、「芸能人」に就いて「自衛隊」が第3位という調査結果もあり、信頼できる組織ではあるけれど、自分の子供は自衛官にしたくはないと考える親御さんも多くいます。国民に対してあらゆる機会を捉えて隊友会会員が自身の体験に基づいて地道に語りかけることが国民と自衛隊の架け橋となるという事ではないでしょうか。隊友会を巡る環境も高齢化、会勢減少と厳しいものがあります。ポストコロナを迎えつつあり各支部の活動も徐々に戻りつつあります。先輩と後輩の良き交流の場として、また、特別会員との理解増進の場として隊友会を活用して頂きたいと思ひます。

★春の叙勲★

瑞宝大綬章

岩崎 茂 (柏支部)

瑞宝小綬章

阪谷 泰久 (山武東金支部)

福井 義博 (印西支部)

瑞宝双光章

北本 博文 (木更津支部)

山口 篤夫 (沼南支部)

大草 久幸 (印西支部)

佐久間 裕二 (八千代支部)

椎名 惣治 (東総支部)

菅原 美智治 (四街道支部)

宮本 幸二 (松戸支部)

森下 孝志 (安房支部)

八巻 正時 (市原支部)

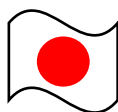
吉原 徹 (山武東金支部)

瑞宝単光章

安藤 徳光 (四街道支部)

宮路 英明 (四街道支部)

矢部 和宏 (館山支部)



受章者の皆様
おめでとーございます

千葉県隊友会の活性化は各支部の活性化にほかならないと考えております。今後、各支部の実情に合わせてイベント等を企画していきたいと考えておりますのでご協力をお願い申し上げます。

令和5年度千葉県隊友会支部長

千葉中央	今瀬 信之 (空)
千葉美浜	首藤 敏明 (陸)
千葉花見川	片山 隆仁 (事) ※(支部長代行)
千葉稲毛	櫻井 武之 (空)
千葉若葉	佐藤 窄陸 (陸)
千葉緑	林 征二郎 (陸)
市原	秋重 親雄 (陸)
八千代	日野 進 (陸)
習志野	柚木 文夫 (陸)
船橋	森 良雄 (陸)
浦安	吉岡 誠 (陸)
市川	金井 泉寿 (陸)
我孫子	豊嶋 尉史 (陸)
鎌ヶ谷	坂本 祥貢 (陸)
松戸	中川 博英 (陸)
流山	田坂 徹夫 (陸)
野田	青田 実 (空)
柏	阿比留 義顯 (海)
沼南	永岡 雅史 (陸)
白井	増山 普一 (陸)
印西	津村 隆尋 (陸)
四街道	筒井 紀詔 (陸)
佐倉	森田 悦朗 (陸)
八街	岩井 勝己 (陸)
成田	石橋 隆夫 (海)
香取	石川 芳夫 (空)
東総	都祭 広一 (陸)
山武東金	越川 政道 (陸)
長生(兼茂原)	森本 澄男 (陸)
夷隅	高橋 清三 (陸)
安房	三好 文雄 (空)
館山	川村 巖 (海)
木更津	清水 久兀 (空) ※

※：新任

◆稲毛支部◆

一 稲毛支部の現況 会員数

約67名(7年前は109名)出身別内訳は、陸自49名、海自11名、空自6名、事務官1名ですが、構成員の高齢化で総会等の行事参加者もせいぜい15名前後となっています。

分会の結成と分会単位の連絡系統を維持

志津原地区(六方、山王、小深)、天台&轟地区、宮野木&園生&長沼地区、小仲台&稲毛地区の4つの分会を通じ連絡系統を維持しています。

地域の特性

地域広大(約20町)、一戸建て住宅約55割、マンション約35割で、選挙等看板張りは、一戸建てが多い志津原地区は比較的容易です。

二 稲毛区の歴史、旧軍関係施設・現在の自衛隊施設等

稲毛区は、戦前は軍都千葉であり、軍関係の施設が多数ありました。現在の稲毛区役所や京葉工業高校がある穴川には、「千葉陸軍戦車学校」があり、小中台公民館や千葉女子高校のある小仲台には「千葉陸軍防空学校」がありました。また、作草部町には「陸軍歩兵学校」があり、軍隊の行進する音が賑やかであったことから「轟町」の地名が名付けられたと云われています。当時の面影を伺うことのできる施設として、ついこの間まであった、川光倉庫が使用していた作草部町の「気球聯隊の旧第二格納庫」も壊されマンションに変わりました。また、千葉経済学園内にある「鉄道第一聯隊材料廠煉瓦建築跡」及び千葉公園には、「鉄道橋」もあり、当時の様子を伺うことができます。また、

現在の下志津駐屯地は「旧陸軍の航空学校跡地」で、下志津演習場跡地に接続しており「昭和天皇お手植えの松」が駐屯地本館の前にあります。戦後は、食料難と復員軍人の居住と生活確保のため、軍用地の多くが農地に払い下げられ、稲毛区から四街道にまたがる広大な下志津演習場は、天台から長沼原、六方山王、下志津地区に大規模な入植開拓が行われ、陸軍の施設が集中していた、穴川、小仲台、轟、作草部町地区は戦災を受けた諸学校が移転復興し、現在は千葉大、敬愛大、千葉経済大や7つの高校や放射線医学総合研究所などの文教及び研究機関となっています。会員の皆様も、千葉市に立ち寄り寄られた折には、是非稲毛区にあるこれら旧軍関連施設を訪れて、新しい発見をされては如何ですか? これらの稲毛区の文化財等の散策MAPはホームページを御覧下さい。

現在の稲毛区及び近傍に所在する自衛隊施設は千葉地方協力本部、陸上自衛隊高射学校(近傍)の2か所のみです。

三 稲毛支部の活動状況

稲毛支部総会・懇親会

県隊友会総会後の5月に毎年実施していますが、2020年から2年間は、新型コロナウイルスの影響で中止、昨年からは懇親会抜きの総会のみを実施しましたが、会員の高齢化で、現在の参加者は支部長以下約10数名と依然と比べかなり減少してきています。総会では、県隊友会の方針等を紹介説明するとともに、稲毛支部の前年度の活動成果及び次年度の活動計画を決めるとともに、会員相互の親睦と特別会員等との意見交換を図っています。



令和4年度稲毛支部総会

会員と地域の特別会員、周辺部隊等の長との親睦行事

志津原会(発足当時、稲毛支部の分会)は、会員の親睦と地域との連携を図ることを目的とし、主として小深町、六方町、山王町在住の会員及び高射学校長、地区選出の国会議員、県議会議員、市議会議員等との交流会を開催してまいりました。現在、新体制となった志津原会と連携して活動しております。

※主な活動 町内会の会長・副会長・理事・顧問、選挙時ポスター貼り、詩吟同好会(県護

国神社、追悼式等献吟)、料理教室参加、囲碁同好会講師、春の観櫻、酷暑期、年の瀬又は新年の親睦会に必ず地元選出国会、県、市議会議員及び高射学校長が参加、他千葉県隊友会行事、地域の行事等に多数参加しております。

近傍部隊等の行事参加

下志津（賀詞交換会、予備自講話、開庁記念日、追悼式、夏祭り、音楽祭等）習志野（初降下訓練、夏祭り、餅つき、PAC-3研修等）

地域のボランティア活動

地区の自治会長・区長、地区社会福祉協議会、防犯協会、ハトロール等

会員への普及教育、パソコン教室

パソコン初心者を対象に、経費節減の折、会員への連絡手段を電子メールで実施できる事、インターネットでホームページを閲覧できる事を当初の目標として2回程実施しましたが、高齢化等でそれ以降進まず、とりやめとなっています。

隊友新聞折り込み作業の支援

常時2名以上が参加し、隊友新聞は予算節約と新聞手配り時の会員現況把握を兼ねて全員手配りしています（手配り率100%・新聞不要者等を除く）

千葉県護国神社奉仕活動

例年春、秋の例大祭における清掃作業及び車両統制等に近傍支部として1名以上参加しています。

以上で稲毛支部の現況紹介を終わりますが、役員等の高齢化で稲毛支部の活動もコロナの影響もこれあり、低調となつてきており、今後は若手会員を取り込んでの活性化努力を図っていきます。

稲毛支部長 櫻井武之

◆東総支部◆

東総支部は、銚子市、旭市、匝瑳市の広域三市を活動拠点とし、現在会員は24名を数えます。本地区は極めて温暖な地域でもあり、基幹産業である農畜産業は県内トップクラスの



実績を誇っておりません。しかしながら、日本全国で鳥インフルエンザが猛威を振るう中、わが匝瑳市もその例外に漏れることはありませんでした。ウイルスの強力な感染力は、主に都会へ供給を担う鶏卵の食料基地としての動きを止めてしまいました。改めて国を護ることに置いて、食料政策やエネルギー政策も立派な国防であると痛感した次第です。

そのような中、習志野駐屯地より派遣された自衛隊の精鋭諸士が、ウイルスの感染拡大防止のための必要措置を講じるべく、夜を徹して作業をおこない、なんと一晩で感染鶏10万羽の殺処分を遂行していただきました。まさに、統率力をもった自衛隊ならではの成果でもあり、行政関係者をはじめ市民の皆さんも改めて頼れる自衛隊”を感じて頂いた事例でもありました。

1月28日、隊友会東総支部として、一刻も早い隊員の皆さんへの激励のため、匝瑳市の宮内

康幸市長、地元選出の宇野裕県議や行政関係者とともに、現場中央指揮所を訪問させていただき幹部の皆さんへ感謝の意をお伝えさせて頂きました。

東総支部では、今後、地元の雇用促進協議会と連携し、退職自衛官の皆さんの再就職などの支援を行っていきたくと考えています。最後に県内各地の隊友諸兄のご活躍をお祈りいたします。

東総支部長 都祭公一



中央指揮所を激励訪問

【支部紹介記事の掲載予定】

『千葉だより』の支部紹介の予定は、次の通りですので、楽しみにして、お待ち下さい。

- ◎9月号…松戸支部、佐倉支部
- ◎1月号…鎌ヶ谷支部、香取支部
- ◎3月号…我孫子支部、緑支部

【千葉県隊友会事務局】

〒260-0042

千葉市中央区椿森1丁目26-9
コンラッドビル4階

電話：043-306-2095

FAX：043-306-2096

Eメール

chibataiyuu@angel.ocn.ne.jp

ホームページ

<http://www.chibataiyuu.com/>